

# マツチ箱の手工

## 山形寛

手工と云へば何時でも、新しい材料を用ひなければならぬ様に、常に新しい色紙を切つたり貼

つたり、新しいボール紙を使つたり、テープを使つたり、きびがらを使つたりすることばかりが行はれて居るけれども、決してさうばかりさせる必要はないので、學校や家庭で出來た色々な廢物、たとへば菓子箱の不用になつたのや、書物のサクにしてあつた箱の不用になつたのや、鏝詰の空罐や、その他種々な空箱や、糸巻（カタン糸などの）不用になつたものや、其他色々な廢物を利用して、それに少しく工夫を加へ、加工して玩具や模型などを作らせることは、かへつて、興味のあることであり、且つ工夫力を練る上にも有効な

ことなのである。此所に述べるまつち箱の手工などもその一例として述べたものである。

マツチの空箱はどここの家庭にても随分出來るものであるが、出來れば直ちに捨て、しまふか、せいで利用した所で、かまの下でたいてしまふ位のものである。然るに之を利用して子供の玩具にしたり手工の材料にすると、なか／＼面白いものが澤山出來るのである。子供等は立派な出來上つた玩具を買つてやることもよいけれども、自ら工夫して作つたものには、又特別の愛着を持つものである。面白味も多いものである。而してこゝにはまつちの箱に就て述べるのであるが、兩切巻煙草（バット、エヤシツブ、スター、リリー等の如

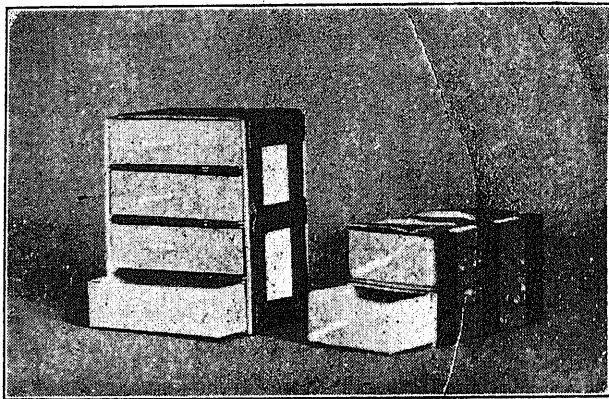
きもの)の空箱を用よれば一層面白く、一層多く  
のものが出来るのである。

以下三四の實際例に就て述べ  
あとは各自の工夫によつて作る  
ことにしよう。

### 一、抽出箱

第一圖の右はマツチ箱二個で  
作つた抽出箱である。これを作  
るには、二つのマツチ箱を重ね  
て、手工テープを兩端と中央と  
の三ヶ所に巻きつけて、貼りし  
ばる。

中の突出しを引き出して、一  
端に小孔をあけ、こよりを二つ  
に折り返して燃り合せたものを  
その小孔に通し、内部でこれを左右に開いて、テ  
ープ片で貼りつけて抽出の引手となるのである。



箱の表面には適宜の裝飾を手工テープでつけさ  
せる。(圖には貼りしぱり方を示すために裝飾はつ  
けてない)。

手工テープの無い場合には、  
二つの箱を糊で貼りつけてから  
表面に色紙を貼つて結合する様  
にしてもよい。

抽出の引手は、紙燃を用ひな  
いて、小さな帳綴金具等を用ひ  
てもよい。

### 二、鏡臺

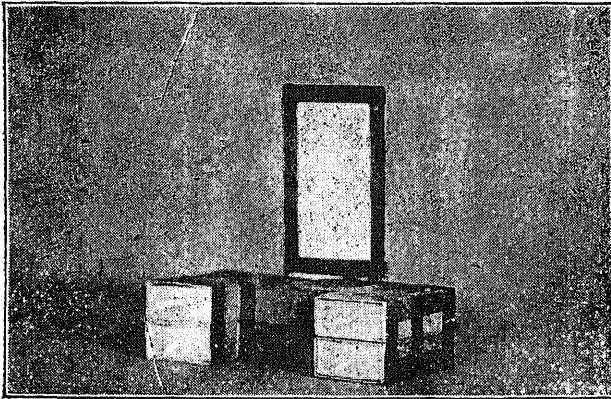
第二圖は、六個のマツチ箱と  
ボール紙の小片とで作つた鏡臺  
である。之れを作るには、前の  
抽出箱を作つた時と同じ方法に  
マツチ箱二つづゝを手工テープで貼  
りしぱつたもの三組を作る。

次に三組のマッチ箱を圖の様に、左右を縦に、中央を横に組合せて、手工テープで二ヶ所ばかり貼りしぼる。

次にボール紙を幅はマッチ箱の長さに等しく、長さは、マッチ箱の二倍強に切り、これを、中央の箱の後に貼りつけ、なほ手工テープで貼りしぼる。このボール紙は鏡になるのである。褐色のテープで鏡の縁をはり箱の表面には適宜の裝飾をなす。(圖には貼りしぼり方を現すため裝飾はない。)

各抽出に引手をつける。引手のつけ方は、前の抽出箱と同様にするのである。

### 三、箆筒



第一圖の左は四個のマッチ箱と、ボール紙片

とて作った箆筒である。これを作るには、先づ各

のマッチの外側の側面だけを缺て切り去るのである。この工作は切り過ぎたり、切り残したりしない様にしなければならぬ。

前の様に切ると、箱の三方が切り開かれたことになるから、そのままでは箱の形を保たないことになるのである。そこで、先づ箱の切り開いた部分の、相隣する上下の二枚づつを、手工テープで貼り合せるのである。そして四つの箱を、連続するの

である。然しこれだけでは、まだ箱の形を保つことにはならないから、その各の間に抽出をはめ込

んで置いて、兩側面から、ボール紙を當て、(この

ボール紙は豫め箱を四つ重ねた時の側面の大きさと

同じ大きさに切つて置かなければ

ならないのである。これを作る

には、箱を四つ正しく重ねて、

それをボール紙の上に當て、鉛

筆でその大きさを寫してから、そ

の線の所から切り離せばよいの

である。)手工テープでしばり合

せるのである。さうすれば大體

は出來上るのである。

各抽出には、前二工作の場合

と同じ方法によつて引手をつけ

る。この引手は、つまり、箱の

長い方の側の中央につけること

になるのである。

表面に任意の裝飾をして仕上げるのである。

#### 四、机

第三圖は五個のマッチ箱で作つた机である。こ

れを作るには、先づ三個のマツ

チを平たくならべて、兩端を手

工テープで巻いて貼りしぼるの

である。

第 次は左右の兩端に、圖の如く

各一個づゝのマッチ箱を當て、

三 手工テープで貼りしぼるのであ

る。この部分のはりしぼりには

圖 三個平面に連續して置いた箱

の、表面にかけてテープで貼り

しぼつてしまふと、引出を引出

すことが出來なくなつてしまふ

から全づ左右のものゝ引出を抜

き去つてしまつて置いて、テープを底の板だけに

かけて貼りしぼるのである。

三個の抽出に引手をつける。

表面に裝飾をして仕上げるのである。

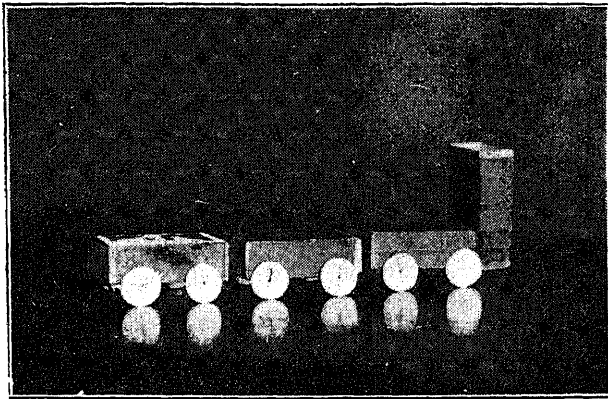
マッチ箱には多少の歪のあることはまぬがれないのであるがそれを用ふる前には豫め歪をなほしてかゝらないとうまく行かないものである。机の如きものは特にその歪がじやまになるものであるから あまりひどい歪のあるものは使はぬがよい。

### 五、汽車

機關車を作るには、二個のマッチ箱を工字形に組合せて、手工テープで貼り縛る。

車輪は、ボール紙を十錢白銅

貨大位の圓形に切つたもの四個を作り、中央に錐の先で小さな孔をあけて置き、針金又は籤竹を通



して心棒とするのである。

針金の心棒は、車が抜けないために端を曲げて

置けばよく。籤竹の心棒の場合には、端に幅の狭いテープを巻きつけて抜けない様にすればよい。

第 二組の車輪を作り、その心棒を、箱の裏面にテープで貼りつける。

貨車を作るには、前に作つたのと同様の方法によつて二組の車輪を作り、その心棒を箱の裏にテープで貼りつければよいのである。

貨車はマッチ箱の中の引出の

箱だけを用ひたのでもよい。

貨車はなるべく多數作るのが面白い。

## 六、自動車

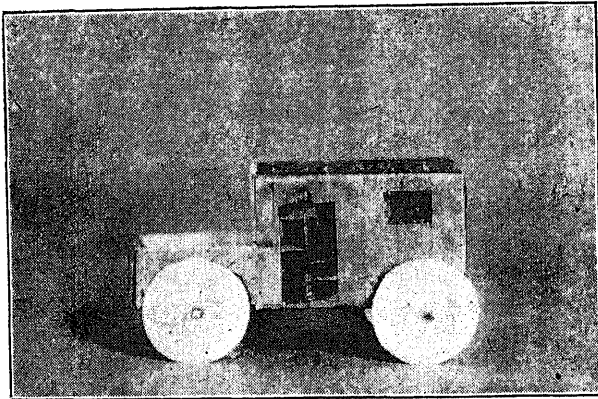
第五圖は二個のマッチ箱で作つた自動車であ

る。これを作るには、先づ二個のマッチ箱を重ねて、テープで貼り縛り、下方の箱の抽出を約五分の三位引き出して、左右兩側をテープで貼つて動かぬ様にする。

全體を黒又は紫色のような暗い色のテープで貼りうる。

入口、窓等を明るい色のテープで貼り表はす。

ボール紙で一錢銅貨大又はそれよりやゝ大きな圓形四個を作り、中央に小孔あけ、心棒を通して抜けない様にしてから、心棒を車體の下方に圖の如く當て、テープで貼りつければよいので



第五圖

ある。

以上挙げたものはほんの類例に過ぎないのであるから、色々工夫して試作せられんことを、又幼兒には試作せしめられんことを望む次第である。

(二、九、二五)

